

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	761 学校保健管理事業	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	01	教育総務費
		目	03	義務教育振興費
基本 施策	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	細目	102	一般管理経費
		細々目	02	学校保健管理経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	450300		担当者
	名称	学校教育課		氏名
				連絡先
				22 - 9676 (内線) 3821

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	小中学校児童生徒及び教職員	※対象件数	8179人
成果(どうする)	健康診断を実施することで健康管理が充実します。		
根拠法令・要綱等	学校保健法		
開始年度	平成 16 年度	関連事業	
終了年度	平成 年度		
H21 事業 内容	1. 児童生徒の健康診断(心電図・尿検査・ぎょう虫検査・結核検査) 2. 教職員健康診断(結核検査・胃検査・定期健康診断・養護教諭B型肝炎検査)		
社会情勢 の変化等			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
児童生徒の定期健康診断(心電図・尿・ぎょう虫・結核)実施校数	校	校	目標	37	目標	36
			実績	37	実績	36
			目標	300	目標	300
			実績	249	実績	233
健診センターにおける教職員の健康診断 受診者数	人	人	目標	300	目標	240
			実績	249	実績	233
			目標	240	目標	240
			実績	240	実績	240

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
教職員の健康診断受診受診率	%	健診センターと人間ドックなど何らかの健診を受けたと確認できた教職員の割合	%	目標	100	目標	100
				実績	95	実績	95
				目標	100	目標	100
				実績	95	実績	95

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	28,565	26,421	29,858	29,858				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	13,259	11,423	13,935	13,935				
一般財源	15,306	14,998	15,923	15,923				
事業投入人件費(B)	0.5人	3,600	0.5人	3,600	0.5人	3,600	0.5人	
フルコスト(A)+(B)	32,165	30,021	33,458	33,458				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
有効 性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
達成 度	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
効率 性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
効率 性	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
効率 性	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	
効率 性	受益者負担を求められることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	検査項目・検査回数を増やすことを検討したい。
昨年度 の取組 状況	【状況】 計画のとおり進んでいない
	【詳細】 検査項目・検査回数を増やすには予算の増額が必要であり、学校保健法で定められた項目を実施した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	仁保晋作
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 検査項目・検査回数を増やすには予算の増額が必要であり、学校保健法で定められた項目を今後も実施していきます。
現時点における課題、その他	人間ドックで実際に受診した教職員の人数を把握できていない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	本年度中に、すべての教職員が健康診断を受診したか確認できる手立てを講じる。